

**講座紹介**

講座名	<p>「人工衛星を支える電気のしくみ」 by 昭和電気研究所</p>	
内容	<p>人工衛星が宇宙で活やくするためには、電気は欠かすことのできないものです。太陽電池から電力を生み出し、バッテリーにたくわえた電力を使うことで、人工衛星は宇宙で動き続けます。人工衛星の中にあるいろんな機器のスイッチを、電気ので ON・OFF することで、通信機を動かしたり、人工衛星自身の向きや姿勢を変えたりします。この講座では、遠い宇宙空間にある人工衛星がどのようなしくみで動いているのかを学びます。最前線で働くエンジニアによる実験もご覧いただけますのでお楽しみに。</p>	
日 ち	<p>1 回目 2021 年 1 月 9 日 (土) 2 回目 2021 年 2 月 21 日 (日)</p>	
時 間	<p>14:00～ (講座は約 45～60 分)</p>	
対 象	<p>小学校高学年～中学生 (推奨)</p>	
定 員	<p>18 席</p>	
講 座 料	<p>無料 (展覧会へご入場されている方が対象です。講座のみは受けられません。)</p>	
参 加 方 法	<p>事前予約制 ※ 予約フォームから事前にお申込みをお願いします。 ※ 新型コロナウイルス感染予防のため、当日はマスク着用、手指の消毒のご協力をお願いいたします。講座の前に検温をさせていただきます。体調のすぐれない方はご来場をお控えください。</p>	
講 師	<p>株式会社昭和電気研究所 (HP: <a href="http://www.showalabo.co.jp">http://www.showalabo.co.jp</a>) 技術部 古賀 圭</p>	
紹 介		<p>昭和電気研究所は「社会や人々の生活に役立つもの」「他社に類を見ないもの」の製作をモットーとする研究開発型電子機器メーカーです。センシング技術(画像・音響・振動等)+装置化が得意としており、開発・製造・メンテナンスまで一貫体制を確立しています。宇宙事業については、約 15 年の実績があり、QPS-SAR では、太陽電池パネル・バッテリーパック等の製作、制御ユニット(電源・姿勢)の設計・製作のほか、機体内の配線などを担当しています。</p>